



JAL、SAFを通じた資源循環を学ぶオリジナル教材を開発 ～全国の小学生約2万人を対象に、6月より授業開始～



JALグループは、2050年までにCO₂排出量実質ゼロを目指すことを宣言し、2030年度までに全燃料に占めるSAFの使用量10%、またSAFによるCO₂削減量5%を目標として掲げています。(*)

このたび、目標達成に向けた取り組みの一環として、株式会社ARROWSが提供する教育プログラム「SENSEI よのなか学」を活用し、家庭の廃食油をSAFにリサイクルする最先端の取り組みを学ぶ教材を開発しました。暮らしと航空業界の脱炭素化とのつながりを次世代を担う子どもたちに伝えることを目的として、2026年6月より全国約400校・約2万人の小学4年生を対象に提供を開始します。

脱炭素社会の実現に向けては、子どもたちが早期に環境や資源循環について学び、自分ごととして捉え、日々の行動変容を積み重ねていくことが重要です。しかしながら、教育現場においてごみ処理やエネルギー問題は、分かりやすく伝えられる教材が少なく、子どもたちにとって難しいテーマとされる傾向があります。廃食油という身近な題材を通じて、子どもたちやその家族が、家庭から始まる資源循環や脱炭素を身近な行動として考えるきっかけとなることを目指し、本教材を開発しました。

JALグループは、SAFを活用する航空会社として航空業界のGX(グリーン・トランスフォーメーション)を牽引するとともに、未来を担う次世代が、地球のあしたを変える「新たな一歩」を踏み出せるよう、サステナブルな取り組みを推進してまいります。

■「すすてる油で空を飛ぼう」プロジェクトとの連動

この取り組みは、JALが推進する「すすてる油で空を飛ぼう」プロジェクトとも連動しています。同プロジェクトは、家庭から出る廃食油を回収し、SAFとして再利用することで、航空機の脱炭素化を進める取り組みです。

詳細URL:

<https://www.jal.com/ja/sustainability/environment/climate-action/saf/uco/>



(*) JALグループ経営ビジョン2035 詳細URL: <https://www.jal.com/ja/philosophy-vision/strategy/>

■教材概要とポイント

本教材は、小学4年生の社会科単元「ごみのしよりと利用」に対応しており、授業スライド・アニメーション動画・ワークシートなどの副教材を、各学校の先生方に授業で活用していただきます。

授業では、家庭から出る廃食油がSAFへ生まれ変わり、航空機燃料として活用されるまでの流れを通じて、ごみの分別や資源循環の大切さを、クイズや動画、グループワークを交えながら45分間で楽しく学びます。「1リットルの廃食油ボトル約7,500本分が東京―大阪間を飛行する航空機1便分の燃料になる」といった具体的な数字も紹介しながら、航空機の脱炭素化には生活者一人一人の協力が不可欠であることを子どもたちへ直観的に伝えます。

教材名称:すてる油が生まれかわる！ みんなで行こう未来への旅

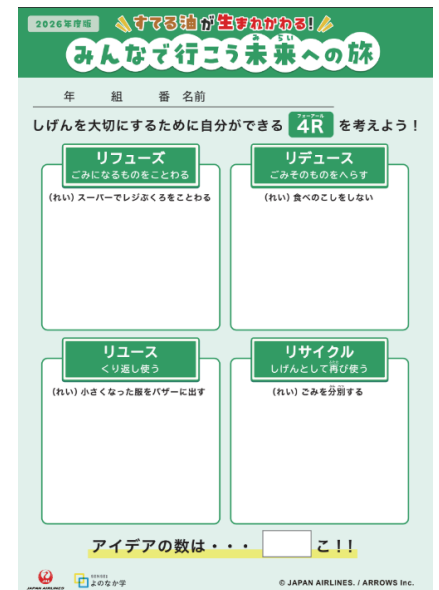
授業時間:1コマ(45分) 完結

推奨学年:小学校4年生

推奨科目:社会(単元:ごみのしよりと利用)

実施費用:無料

教材内容:授業スライド、動画、ワークシート、授業進行台本、授業概要資料、おたより、すごろく



■「SENSEIよのなか学」について

株式会社ARROWSが開発・運営するサービス。教科書にはない「世の中に接続された学びの機会」を子どもたちに届けるため、全国の学校の先生向けに無料で提供する、完全オリジナルの学校授業用教材パッケージです。日本や世界をリードする企業と連携し、最新の知見を子どもたちに必要な学びに変換します。11万人の先生を基盤にもつARROWSだからこそできる先生へのニーズ調査をもとに制作・提供しています。

詳細URL:<https://arrowsinc.com/business/sensei-yononakagaku/>



以上